

特別委員会設置についての希望事項

2011年5月23日

日本共産党 佐々木 泉

愛媛県議会議長 寺井 修 様

県議会運営にあたっての精力的なご奮闘に心から敬意を表します。さて、先日の各派代表者会議で、特別委員会の設置に向けた会派の希望を6月1日までに議長に申し出ることとなりましたので、以下の通りお届けいたします。

名称 原発問題特別委員会

趣旨 福島第一原発の重大事故により、「伊方は大丈夫か」との不安の声が広がっています。これに対して、四国電力は安全措置を行ない、国の原子力安全・保安院がこれを確認したとされています。しかし、福島で問われたのは、電力会社と国による「安全対策」の信頼性が揺らいでいることであり、科学者、専門家、地方行政機関、地方議会などの総力をあげて、確かな安全性論議を進めることが求められているのではないかと考えます。

そこで、県議会に原発問題特別委員会を設置し、専門家の招致なども含め集中的に審議を行ない、早急に必要な対策を講じることができるよう、ご提案申しあげます。

理由 県議会での原発対策の所管は、伊方原発の安全確保については県民環境部、資源エネルギー対策については経済労働部となっているほか、住民への情報提供では企画情報部、医薬品の確保やヨウ素剤の配布等住民の健康管理では保健福祉部、海洋への放射線調査では農林水産部など多岐にわたり、教育委員会、警察本部など知事部局以外の部署でも対応が必要とされているほか、原子力防災計画にもとづく緊急態勢にあっては、すべての部局が総力で対応することになっています。したがって、県議会での論議が常任委員会の枠内に留まっていたら、有効な対応を見いだせない恐れがあります。

また、この特別委員会を設置することにより、県民の不安に対して県議会が即応して応えるという意気込みを示すことができ、県のエネルギー対策への信頼回復とあわせ、県議会への信頼の醸成につながることを確信いたします。 以上